

ボーイスカウト豊中第20団カブスカウト隊

かつ どう ほう こく
活 動 報 告

2011年5月

日本ボーイスカウト豊中第20団
カブスカウト隊

4月3日 須磨アルプスハイク

滋賀県までの東海自然歩道ハイク、大阪を離れ京都へ入るのですが、その前に須磨アルプスです。須磨はカブスカウトにとって重要な場所です。今日はその重要なものを調べます。

板宿駅 → 登山口

板宿駅の近くでおなじみのスタート課題、ロープワークにチャレンジします。課題を解いた1組、続いて3組、2組の順で登山口へ出発。指令書に書かれた地図とコンパスをたよりに、登山口へ向かいます。

登山口 → 高倉台

いよいよ須磨アルプス。スカウトたちは組ごとに指令書の地形図をたよりに高倉台を目指します。途中後発の組に追いつかれた組は後発の組に道を譲り3分間待機します。名所「馬の背」もこの区間です。地形図に「馬の背」の場所を記す課題を解き、スカウトたちは高倉台を目指して歩きます。

高倉台 → 須磨浦公園

高倉台では歩測や地図記号の課題を解きながら住宅地を抜け、もう一度登山道に入ります。堂島の米相場を旗を振って西国に伝えた旗振山を通り、須磨浦公園へ向かいます。ゴールは須磨浦公園にあるウルフカブの像です。スカウトは写真をたよりにゴールを目指します。



「馬の背」
尾根の両側が絶壁
で、非常に険しい。



ウルフカブの像



ウルフカブの像と記念撮影

表彰

1組: 106点

2組: 26点

3組: 112点

⇒ 優勝組 3組

個人賞(歩測)

1位 上田萌夢

2位 佐藤小夏

指令書と活動予定表はブログ「こちらT20カブ隊司令室」にアップしています。

<http://t20csstaffroom.seesaa.net/>

4月17日 嵐山ハイク

須磨のウルフカブの碑の調査を終え、滋賀県までの東海自然歩道ハイクもいよいよ京都が舞台です。
今日は向日市から嵐山までの区間を歩きます。

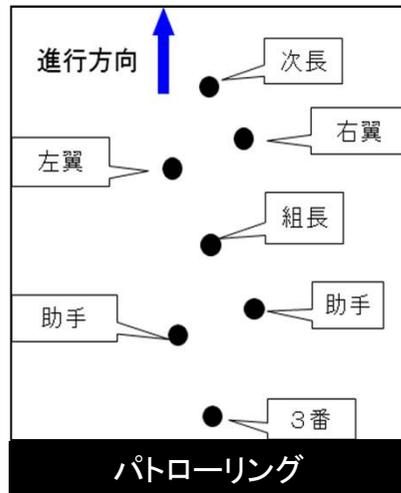
阪急東向日駅からバスで南春日町へ向かい、南春日町バス停から東海自然歩道に入ります。今回のテーマは「観察」、観察に適した「パトローリング」の隊形で、課題を解きながら、東海自然歩道の標識をたよりにゴールへ向かいます。

- 課題
- ・南春日町からゴールの松尾大社まで東海自然歩道の標識はいくつあるか。
 - ・わかりにくいところにある東海自然歩道の標識がどこにあるかがせ。
 - ・東海自然歩道の標識に書いてある注意書きを調べろ。
 - ・景色の良いところでスケッチをせよ。
 - ・子供アジェンダで展示するエコ川柳を作れ。

まずはおなじみロープワークの課題です。最初に課題を解いた1組から出発、2組、3組と続きます。最初のポイントは大原野神社です。大原野神社の境内で歩測をし、大原野神社へお参りして、目的地の松尾大社へ向かいます。大原野神社まで全組団子状態でしたが、大原野神社でから次の目的地「花の寺」への近道を見つけた組、見つけられなかった組、道に迷った組が出てきて、各組バラバラの行動に。2組、3組、1組の順に、指令書の課題を解きながら松尾大社に向かいます。



東海自然歩道の標識



パトローリング

エコ川柳

各組で作ったエコ川柳、スカウト全員による多数決で20団の代表作品を決めます。

多数決の結果、1組の作品が20団の代表に選ばれました。

20団代表作品

豊中第20団1組
できること
みんなで
リサイクルしよう

表彰

1組: 100点

2組: 80点

3組: 97点

⇒ 優勝組 1組

個人賞(歩測)

1位 佐藤幹太

2位 佐々木啓樹

指令書と活動予定表はブログ「こちらT20カブ隊司令室」にアップしています。

<http://t20csstaffroom.seesaa.net/>

4月29日 こどもアジェンダ

今日は服部緑地で地区行事「こどもアジェンダ」です。「こどもアジェンダ」はスカウトが環境問題について考える活動です。午後は5TC(第5回豊中地区キャンポリー)の事前集会です。

桃山台→服部緑地

20団カブ隊は桃山台駅ロータリー南側の公園に集合、カブ隊全隊で服部緑地へ向かいます。出発前にスカウトたちへ、服部緑地からの帰り道は組ごとに帰るので道を覚えておくようにとの課題を与えます。

こどもアジェンダ

豊中地区カブ部門でエコ川柳を各隊1句展示、豊中地区カブ隊全組の投票で優秀作品を決めます。エコ川柳の投票をした組は服部緑地で自然物やゴミを見つけるエコビンゴにチャレンジします。

5TC事前集会

昼食後は豊中地区カブ部門合同のポイントラリーです。組ごとにポイントで課題を解き封筒をゲット。封筒の中には数が書かれた紙が入っています。数の合計で、土、水、火、風の四つの族に分けます。5TCでは漫画「NARUTO」をモチーフにした活動をする予定です。

服部緑地→桃山台

服部緑地から組ごとに桃山台まで帰ります。所要時間の短い組が優勝です。2組、3組、1組の順に服部緑地を出発、各組とも猛烈な速さで歩きます。みんな優勝を目指して一生懸命、遅れた子には手助けをし、道を覚えている子が方向を示し、落伍者も出ず、道も間違えず、素晴らしいチームワークです。



1組のエコ川柳が
地区3位表彰

5TCの族分け

- 1組・・・水の族
- 2組・・・火の族
- 3組・・・土の族



金の個人賞

個人賞

【嵐山ハイクの作文】

浜本一樹、上田萌夢

【嵐山ハイクのスケッチ】

三木 哲、福本明佳里

福本明佳里は5個目の個人賞で、金の個人賞が授与されます。

金の個人賞は2個目、おめでとう!

表彰

服部緑地→桃山台

所要時間

1組: 28分

2組: 31分

3組: 28分30秒

僅差で**1組が優勝**

カブスカウト発祥の地…須磨

須磨は日本人によって初めてカブ隊が結成された場所です。

スカウティング誌 2006年5月号 より

現在のカブスカウトの源流であるウルフ・カブ隊が日本人によって初めて生まれたのは、今から83年前の大正12(1923)年12月、神戸市須磨でのことです。当時の神戸市長石橋為之助氏の要請で、故古田誠一郎氏(日本連盟先達)が自ら隊長となって創設され、いち早く日本連盟に登録されました。

それ以前にも大正7年に横浜でボーイスカウト隊の指導に当たっていた英国人のグリフィン氏によるウルフ・カブ隊や、神戸のカナディアンスクール内にカナダ人によって組織されていたという記録がありますが、日本人によるカブスカウト活動はこの須磨向上会ウルフ・カブ隊から始まったのです。

ウルフ・カブの像は、昭和55(1980)年に建立され、7月22日に除幕式が行われました。兵庫連盟発足30周年の記念事業の一環として建立されたこの像は、神戸市在住の彫刻家、新谷琇紀氏によるブロンズ像で、御影石の台座に取り付けられています。モデルに選ばれたカブスカウト3人が何度もアトリエに足を運んでデッサンされたとのこと。

無心に天を仰いで二指のサインをしているこの像は、過去の歴史を語り、それを正しく受け継いで、未来に向かって限りなく続くことを願っているかのように。それはまた平和を象徴する天使の小鳩のように。

この一文は建立当時の高木兵庫連盟理事長が、建立の報告文に記されたものです。

瀬戸内海に臨む源平伝説ゆかりの須磨浦公園から、その像は今も未来に向かってカブサインを掲げています。

兵庫連盟HPより転載

ウルフカブの像の前にある記念碑



「ウルフカブ発祥の地

大正12年12月古田誠一郎氏
によって須磨にウルフカブが
誕生した。

兵庫連盟30周年を記念して
ここに加盟員一同この像を
建立する

ボーイスカウト日本連盟
日本ボーイスカウト兵庫連盟
1980・7・20

と書かれている

4月度 チャレンジ章受章



浜本一樹 : 動物愛護

土屋実希 : 自然観察官、音楽家

段中玲慈 : スキー選手

寺澤颯良 : 国際・天文学者・地質学者・工作博士

佐藤小夏 : 救急博士

永坂知大 : 友情

升田貴之 : 工作博士

おめでとう!